

2006 年オランダ自転車市況

RAI（オランダ車両工業会）によると、2006 年のオランダ自転車市場の自転車販売台数は、前年比で約 7% 増の 132.2 万台となり堅調に推移している。平日のオランダの駅前を見れば、交通手段としていかに自転車が定着しているかがわかる。そうした自転車利用者の買換え需要がオランダの新車販売数を維持している。



ユトレヒト駅前の駐輪状況

BOVAG（オランダ自転車小売業組合）提供の資料によると、2006 年の平均販売価格等は以下のとおりである。販売業態の分類は、自転車小売専門店と量販店・スーパー等の 2 業態に分けられており、チェーン展開している自転車専門店等は量販店に分類されているので、実際の自転車小売専門店のシェアはもう少し高くなる。自転車小売業全体の平均価格は 582 ユーロと堅調に推移しているが、更に自転車小売専門店は 678

ユーロと、過去 3 年間は 670 ユーロ台を維持している。量販等と専門店との価格差の要因は、オランダの多くの消費者が新車購入の際には、サービス、品質や適切なアドバイス等を求め自転車小売専門店から購入しているためである。オランダでは依然として自転車小売専門店のシェアが約 8 割を占めており、これは量販店のシェアが年々拡大傾向にある他国の自転車市場に比べ特筆に価する。（表 1、2 参照）

表 1 平均販売価格（単位：ユーロ）

	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年
平均価格（全体）	481	530	557	552	584	579	582
平均価格（自転車小売専門店）	506	554	596	596	677	677	678

表 2：業態別売上比率

販売形態	2004 年	2005 年	2006 年
自転車小売専門店	78%	77%	78%
量販店、スーパーなど	22%	23%	22%

価格帯別売上で見ると、700～899 ユーロの価格帯が 2006 年は 20% となり、2005 年の 25% から 5% も減少した。一方で価格帯 500～699 ユーロは 2005 年 13% から 2006 年 19% と 6% も増加していることから、価格帯別売上では販売価格は下降気味であることがわかる。それでもこれらを合わせた 500～899 ユーロの価格帯の自転車が数多く販売されたことは事実であり、改めて同国の平均価格の高さが確認できる。しかし、同時に消費者にとっても自転車は

より高価なものとなり、節約のため消費者の財布の紐は堅くなっている。(表 3 参照)

表 3： 価格帯別売上比率 (単位：ユーロ)

価格帯	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年
300EURO 以下	27%	28%	22%	34%	32%	31%	30%
301～499EURO	17%	18%	21%	18%	15%	20%	20%
500～699EURO	27%	18%	21%	16%	16%	13%	19%
700～899EURO	14%	23%	20%	22%	26%	25%	20%
900EURO 以上	5%	9%	9%	10%	12%	11%	11%
不明	10%	4%	7%				

表 4： 新車・中古車別の市場占有率 (単位：千台)

	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年
新車	70%	67%	68%	69%
台数	1, 219	1, 250	1, 239	1, 323
中古車	30%	33%	32%	31%
台数	522	616	583	594

2003 年から公表を開始した新車と中古車の市場占有率は、新車と中古車について実際の数値を把握するために中古車の売買件数を小売店に調査を行うようになったものであり、2006 年は昨年とほぼ同比率であった。(表 4 参照)

車種別で半数以上を占める一般用自転車とは、オランダの伝統的な自転車「ダッチバイク」等のシティ車であり、次いで 15%のシェアを占めるハイブリッド車は 2000 年に市場シェア 29%に達したのを頂点に減少しその後は軟調である。オランダでは自転車は通勤手段として好んで利用されており、人々は信頼性が高く安全で快適な自転車を求めている。ハイブリッド車のような最新装備を持たないダッチバイクでも、その人気は依然として高いことがわかる。また、マウンテンバイク (MTB) は、わずかの購入層がいる高価格帯は別として、特に低・中価格帯の市場シェアは年々減少し続けており、今後も増加の見込みは薄い。

一方、ハイブリッド車や MTB が年々シェアを減らす中、電動自転車は注目を集めている。風が強く吹きつけるオランダの気候や今後の高齢化社会を考えた時、人力駆動による車両に比べて電動自転車は便利であるとの認識がオランダの消費者間に広まりつつあり、現在は数値的には売上シェアは高くはないが、より低価格で魅力的な電動自転車を市場に供給出来れば、電動自転車は同国で年々人気が出てきており、今後、最も成長が見込まれる車種である。

(表 5 参照)

表 5： 車種別売上比率

車種	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
一般用自転車	43%	49%	56%	57%	52%	54%	59%
ハイブリッド車	29%	19%	16%	15%	17%	17%	15%
マウンテンバイク	10%	11%	6%	6%	6%	5%	4%
子供車	15%	17%	18%	17%	18%	17%	15%
電動アシスト自転車					2%	3%	3%
その他	3%	4%	4%	5%	5%	4%	4%



コガミタヤ (Bike motion 2006 にて)



Sparta の電動自転車

デュッセルドルフ事務所